

## 7 喫煙

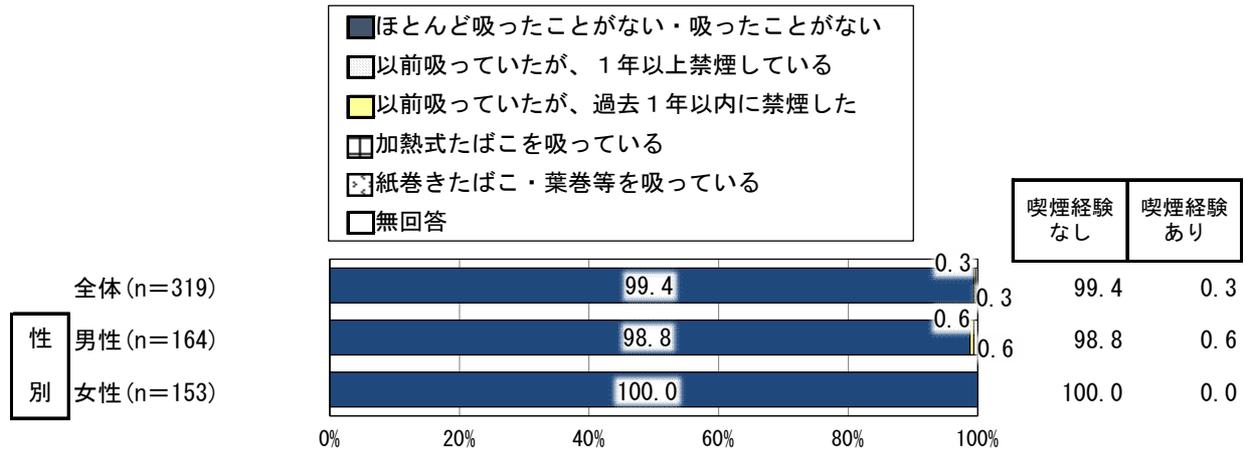
### (1) 喫煙状況

◆たばこを吸ったことがありますか。(○は1つ)【13～18歳間 29、19歳以上間 47】

#### ●13～18歳

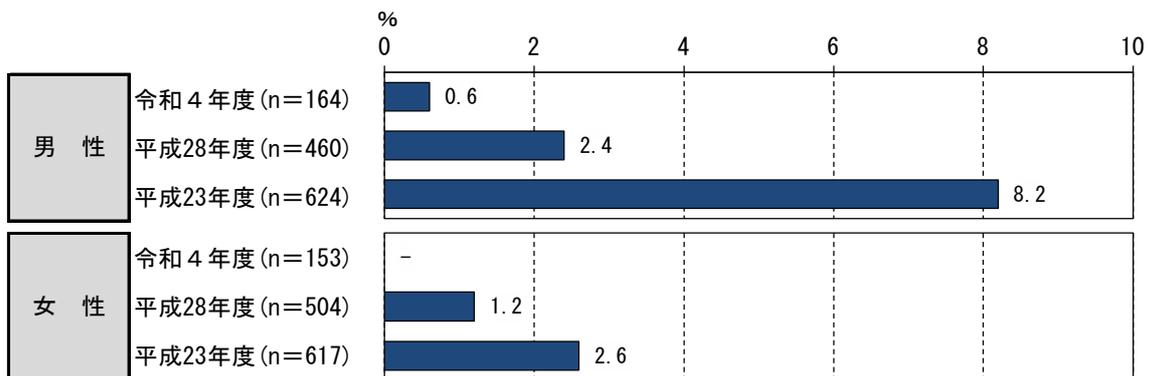
13～18歳の喫煙については、性別で見ると、喫煙経験「なし」の男性は98.8%、女性は100%です。

13～18歳の喫煙状況（性別）



経年で比較すると、男女ともに平成23年度から令和4年度にかけて未成年の喫煙率は下がっています。

13～18歳で喫煙経験がある人の割合（性別、経年比較）



※令和4年度は年齢未回答者・性別未回答者を除く13-18歳の男性・女性のうち、「以前吸っていたが、1年以上禁煙している」、「以前吸っていたが、過去1年以内に禁煙した」、「加熱式たばこを吸っている」、「紙巻きたばこ・葉巻等を吸っている」と回答した者の合計の割合

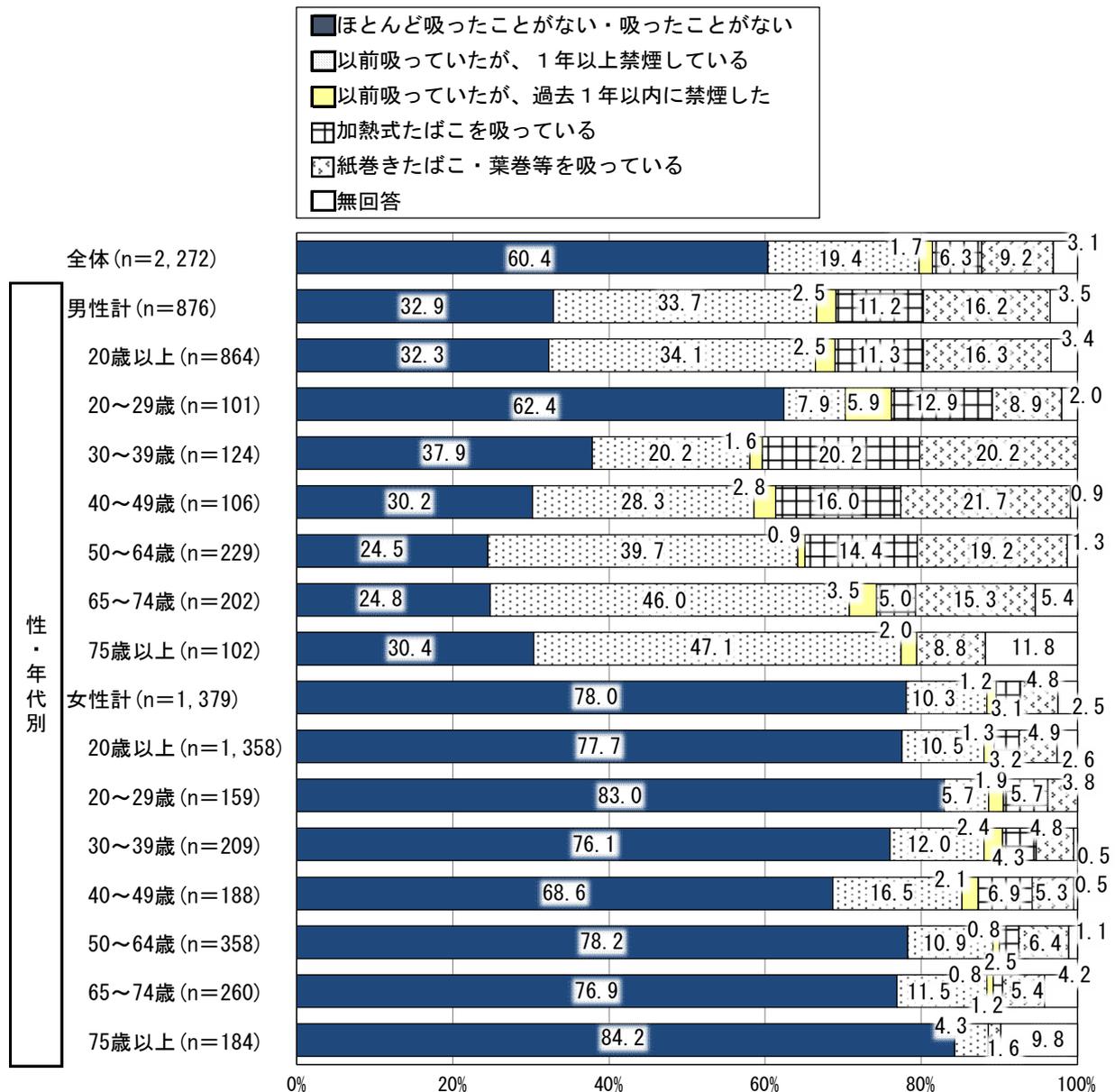
※平成23年度及び平成28年度は、年齢未回答者・性別未回答者を除く中学生・高校生の男子・女子のうち、今までにタバコを吸ったことが「ある」と回答した者の割合

## ●19 歳以上

喫煙の状況については、性別・年代別でみると、男性は年齢が上がるほど「以前吸っていたが1年以上禁煙している」割合が高くなる傾向がある一方、女性は年齢による差は大きくありません。

「加熱式たばこ」と「紙巻きたばこ・葉巻等」の喫煙を比べると、20歳代の男性は「加熱式たばこを吸っている」、30歳代の男性は同程度、40歳代以上の男性「紙巻きたばこ・葉巻等」の割合が高くなっています。

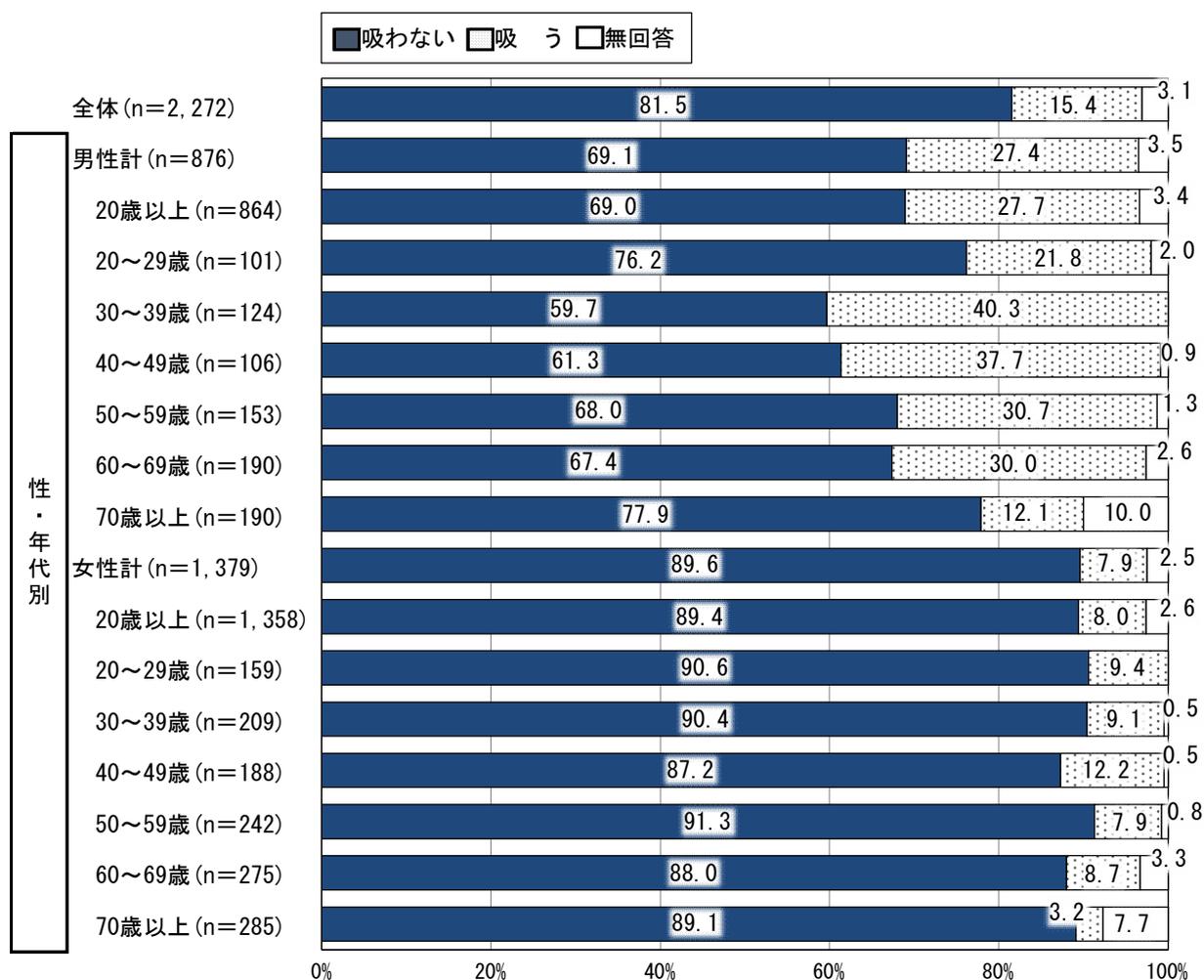
19歳以上の喫煙状況（性別・年代別）



「加熱式たばこ」及び「紙巻きたばこ・葉巻等」を吸っていると回答したたばこを『吸う』者の割合については、男性 27.4%、女性 7.9%です。

男性は 30 歳代をピークに年齢が上がるほどに『吸う』者の割合は低下し、一方女性は各年代の喫煙率に大きな差はありません。

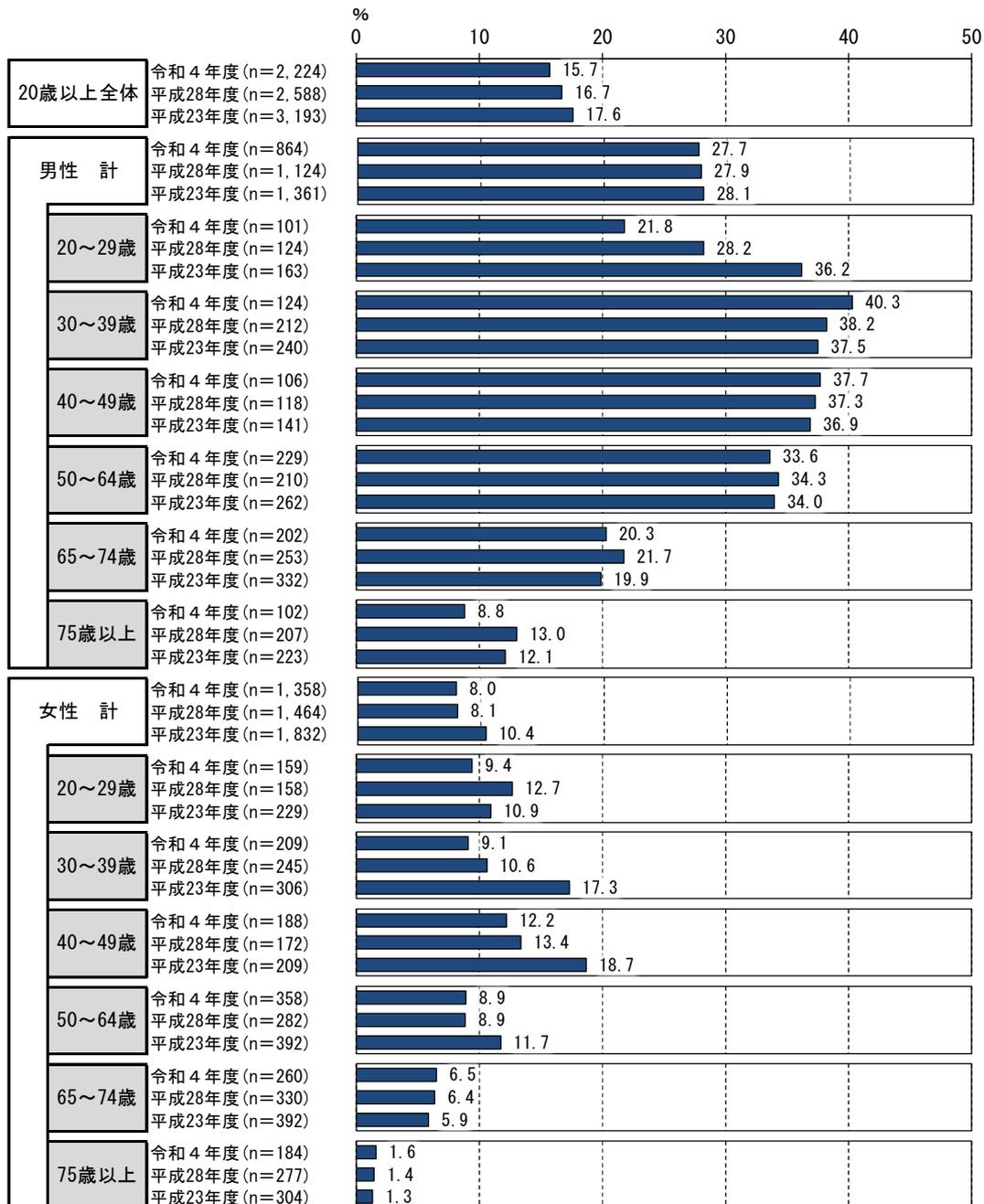
### 19 歳以上の喫煙状況（性別・年代別）



喫煙者の割合については、経年で比較すると、全体で低下傾向となっています。

性別・年代別でみると、20歳代の男性は平成23年度の36.2%から14.4ポイント低下の21.8%、30歳代の女性は平成23年度の17.3%から8.2ポイント低下の9.1%と、喫煙率は下がっています。一方、30歳代及び40歳代男性の喫煙者の割合は年々増加しており、30歳代では平成23年度から令和4年度にかけて2.8ポイント増加、40歳代では平成23年度から令和4年度にかけて0.8ポイント増加しています。

### 20歳以上の喫煙者の割合（性別・年代別、経年比較）



※令和4年度は「加熱式たばこを吸っている」、「紙巻きたばこ・葉巻等を吸っている」と回答した者の割合  
 ※平成23年度及び平成28年度は「吸う」と回答した者の割合

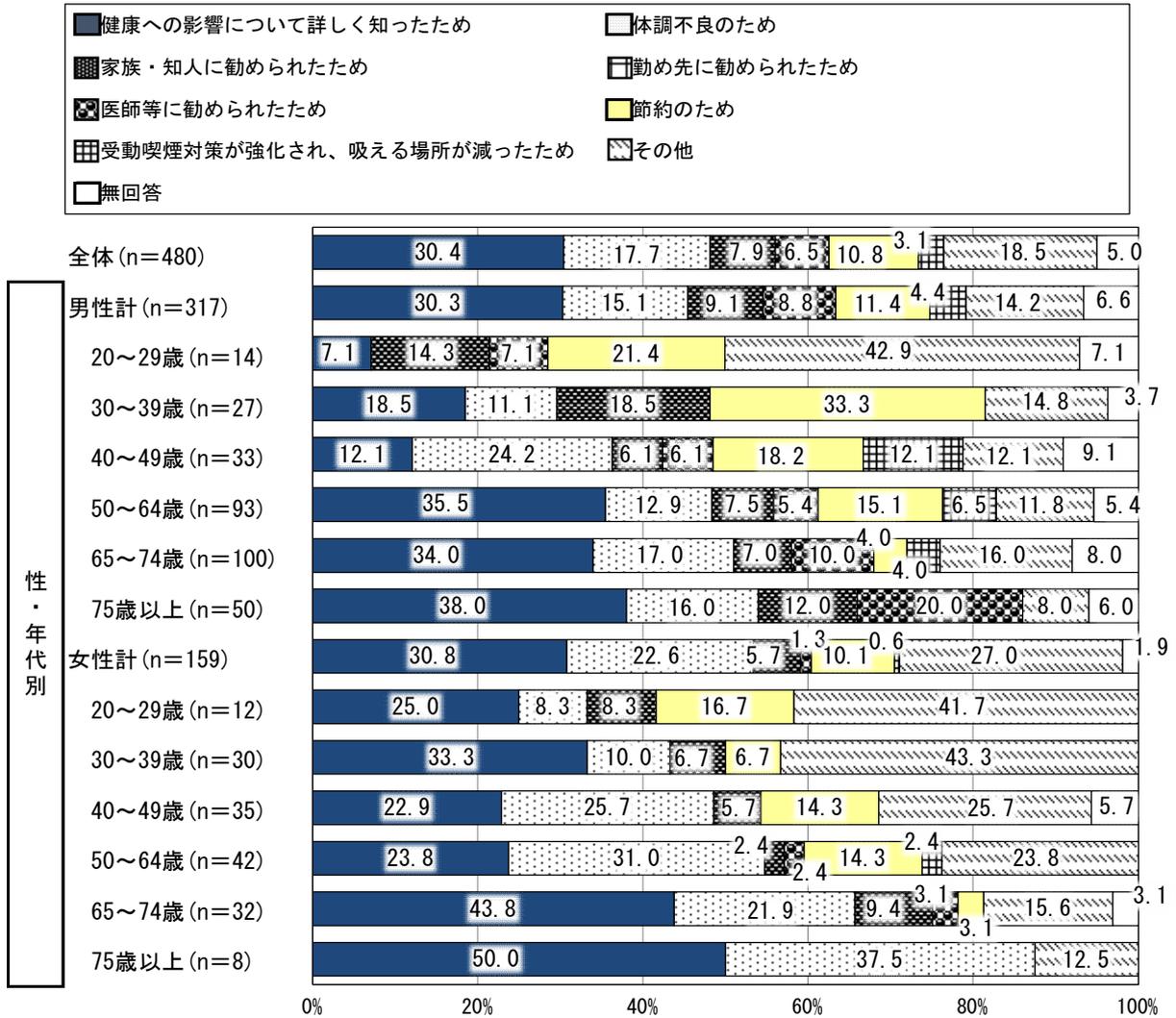
## (2) 禁煙をしようと思った理由

◆ 禁煙しようと思った1番の理由は何ですか。(○は1つ)【19歳以上問 47-1】

禁煙しようと思った理由については、「健康への影響について詳しく知ったため」が30.4%で最も高く、次いで「体調不良のため」が17.7%、「節約のため」が10.8%となっています。

性別・年代別でみると、「体調不良のため」は女性の方が男性よりも7.5ポイント高く、特に40～74歳の女性では2割を超える割合となっています。

19歳以上の禁煙をしようと思った理由（性別・年代別）



### (3) 禁煙への関心度

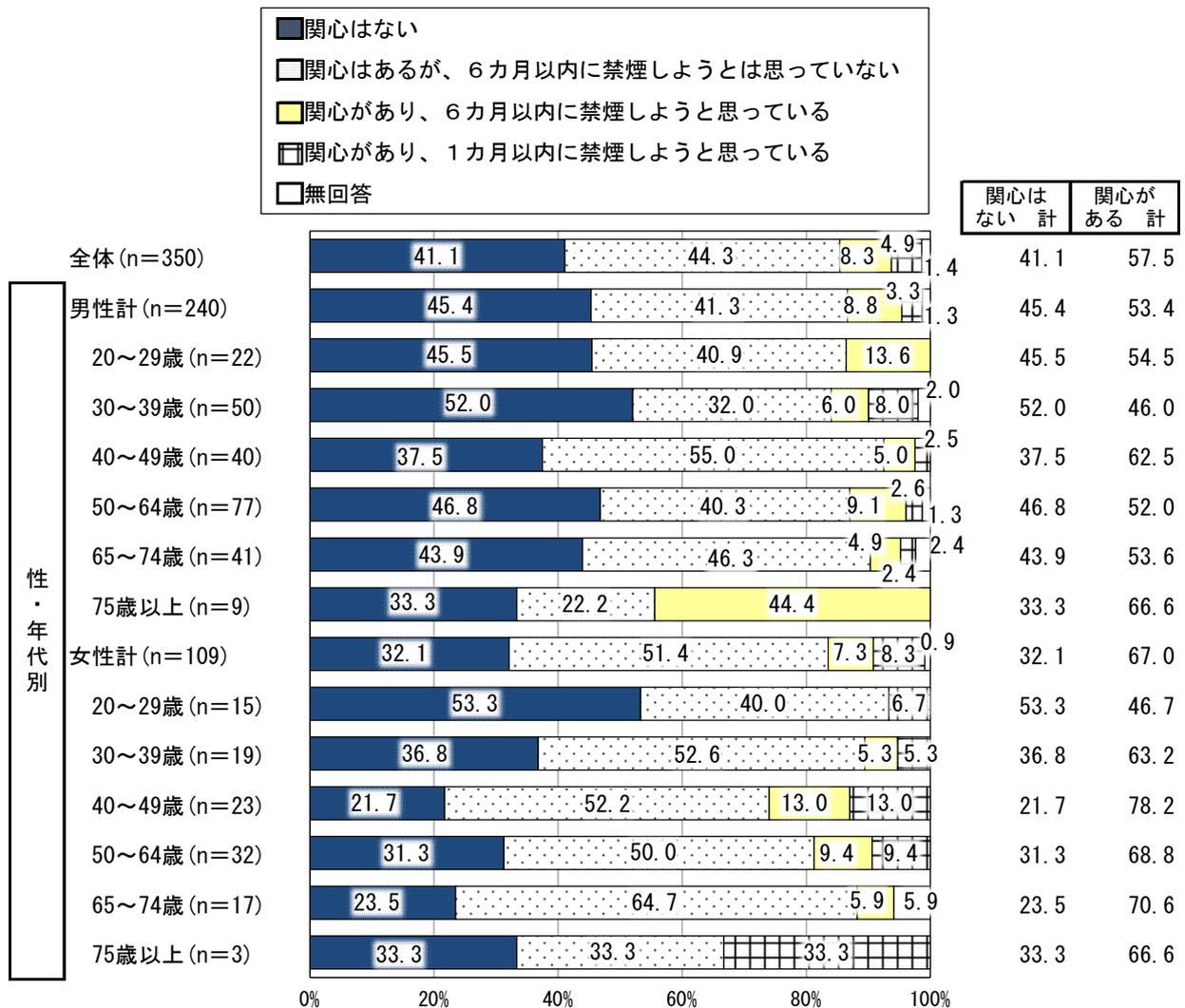
#### ① 禁煙への関心度

◆ 禁煙することにどれくらい関心がありますか。(○は1つ)【19歳以上問 47-2】

禁煙への関心度については、「関心がない」割合と「関心はあるが、6 カ月以内に禁煙しようとは思っていない」、「関心があり、6 カ月以内に禁煙しようと思っている」、「関心があり、1カ月以内に禁煙しようと思っている」の合計値『関心がある』の割合を比較すると、『関心がある』の方が16.4ポイント高いです。

性別・年代別にみると、『関心がある』割合が最も高い40歳代女性と、最も低い30歳代男性で比較すると、32.2ポイントの差があります。

19歳以上の禁煙への関心度（性別・年代別）



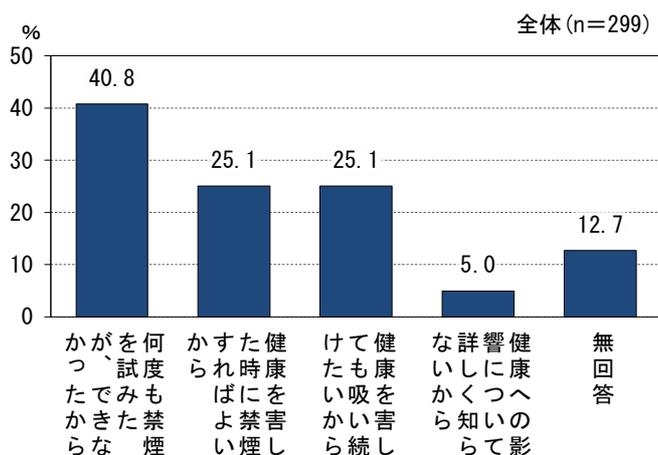
## ②禁煙に関心がない理由

◆禁煙に関心がない、禁煙しようとは思わない理由は何ですか。(○はいくつでも)

【19歳以上問 47-3】

禁煙に関心がない、禁煙しようとは思わない理由については、「何度も禁煙を試みたが、できなかったから」が40.8%で最も高く、次いで「健康を害した時に禁煙すればよいから」、「健康を害しても吸い続けたいから」がともに25.1%となっています。

19歳以上の禁煙に関心がない理由



性別・年代別でみると、「何度も禁煙を試みたが、できなかったから」は女性 47.3%、男性 38.0%で女性の方が高く、「健康を害しても吸い続けたいから」は男性 27.4%、女性 19.8%で男性の方が高くなっています。

19歳以上の禁煙に関心がない理由 (性別・年代別)

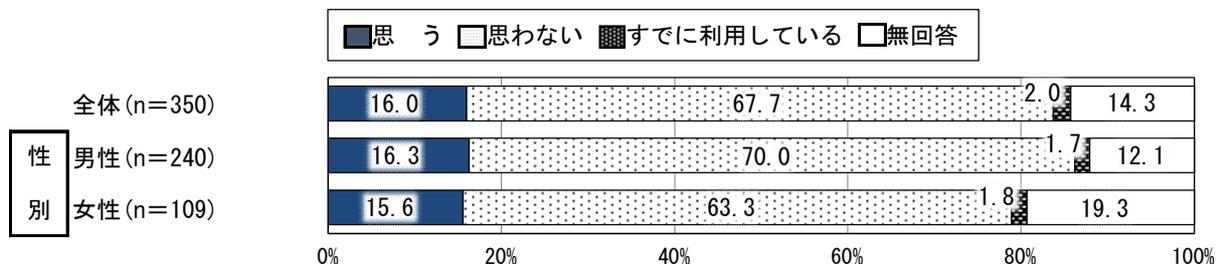
		単位：%					
		サンプル数	何度も禁煙を試みたが、できなかったから	健康を害した時に禁煙すればよいから	健康を害しても吸い続けたいから	健康を害しても吸い続けたいから	無回答
全体		299	40.8	25.1	25.1	5.0	12.7
性別・年代別	男性計	208	38.0	24.5	27.4	7.2	11.1
	20~29歳	19	26.3	21.1	36.8	21.1	10.5
	30~39歳	42	42.9	23.8	31.0	2.4	11.9
	40~49歳	37	40.5	24.3	21.6	8.1	8.1
	50~64歳	67	37.3	26.9	26.9	6.0	11.9
	65~74歳	37	32.4	27.0	27.0	8.1	10.8
	75歳以上	5	80.0	-	20.0	-	-
	女性計	91	47.3	26.4	19.8	-	16.5
	20~29歳	14	35.7	28.6	28.6	-	28.6
	30~39歳	17	35.3	5.9	23.5	-	35.3
40~49歳	17	64.7	23.5	29.4	-	5.9	
50~64歳	26	46.2	38.5	7.7	-	7.7	
65~74歳	15	60.0	20.0	20.0	-	13.3	
75歳以上	2	-	100.0	-	-	-	

#### (4)禁煙外来や禁煙支援の利用意向

◆病院の禁煙外来や薬局での禁煙支援を利用したいと思いますか。(○は1つ)【19歳以上問 47-4】

禁煙支援を利用したいと思う人の割合は男女いずれも16.0%程度です。

19歳以上の禁煙外来や禁煙支援の利用意向（性別）



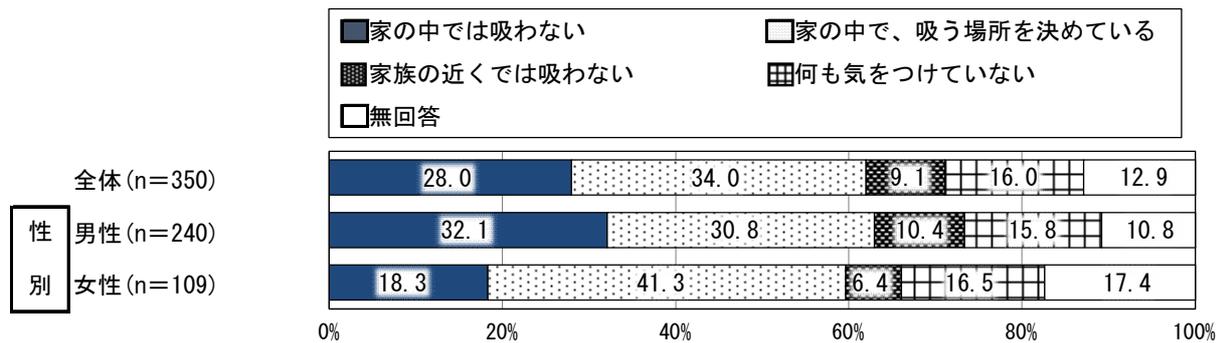
## (5)家でたばこを吸う際に気をつけていること

◆家でたばこを吸う際には、どのようなことに気をつけていますか。(○は1つ)【19歳以上問 47-5】

家でたばこを吸う際に気をつけていることについては、「家の中で吸う場所を決めている」が34.0%で最も高く、次いで「家の中では吸わない」が28.0%、「何も気をつけていない」が16.0%となっています。

性別で見ると、男性は女性よりも「家の中では吸わない」が高く、女性は男性よりも「家の中で吸う場所を決めている」が高くなっています。

### 19歳以上の家でたばこを吸う際に気をつけていること（性別）



## (6)喫煙により影響を及ぼす可能性がある疾患の認知状況

### ①喫煙により影響を及ぼす可能性がある疾患の認知状況

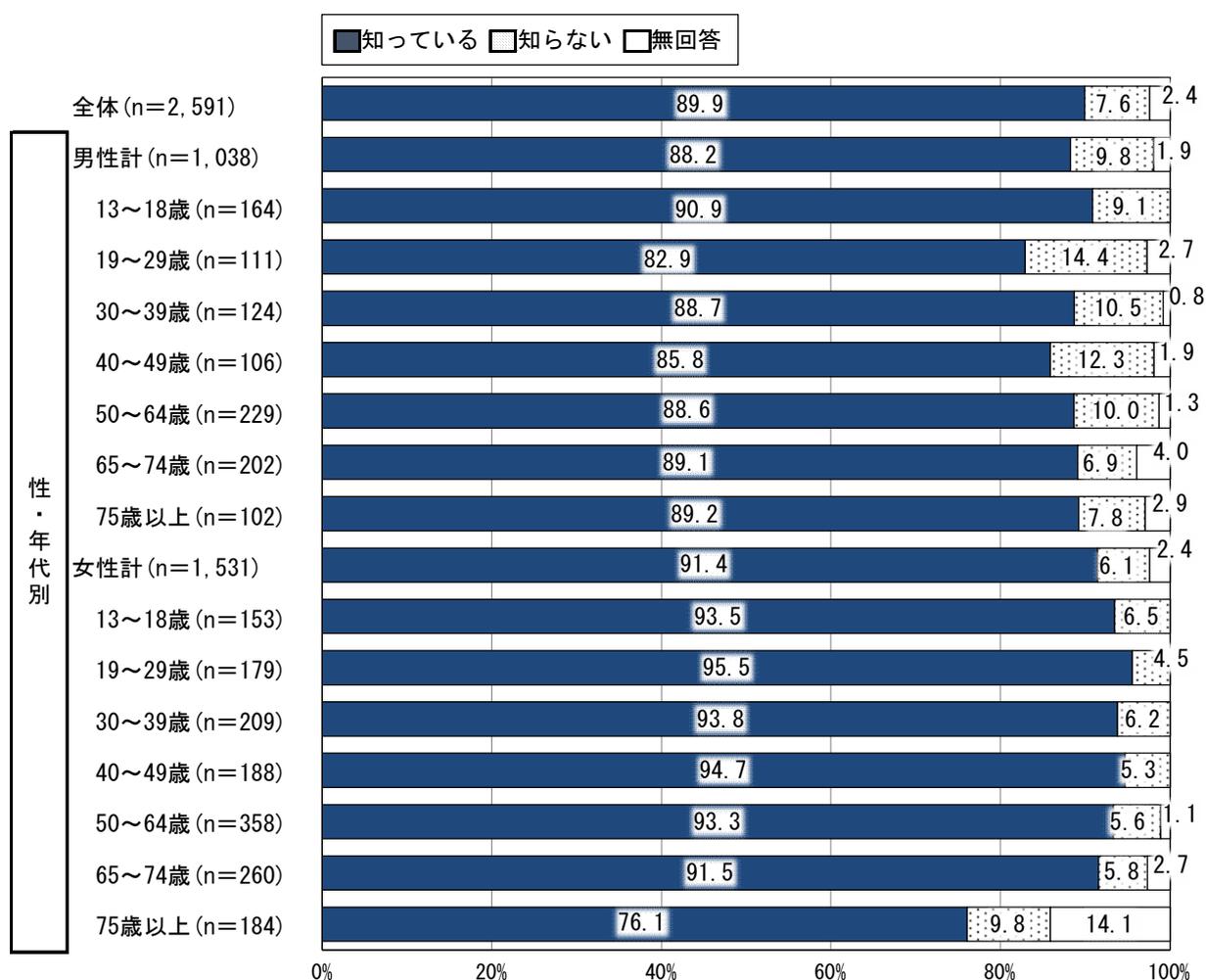
◆喫煙により影響を及ぼす可能性がある疾患について知っていますか。(○は1つ)

【13～18 歳問 30、19 歳以上問 48】

喫煙により影響を及ぼす可能性がある疾患については、「知っている」は 89.9%で約 9 割が認知しています。

性別・年代別でみると、女性は 75 歳以上を除くすべての年代で「知っている」が 9 割を超えています。男性は 13～18 歳で唯一 9 割を超える 90.9%となっています。

#### 13 歳以上の喫煙により影響を及ぼす可能性がある疾患の認知状況（性別・年代別）



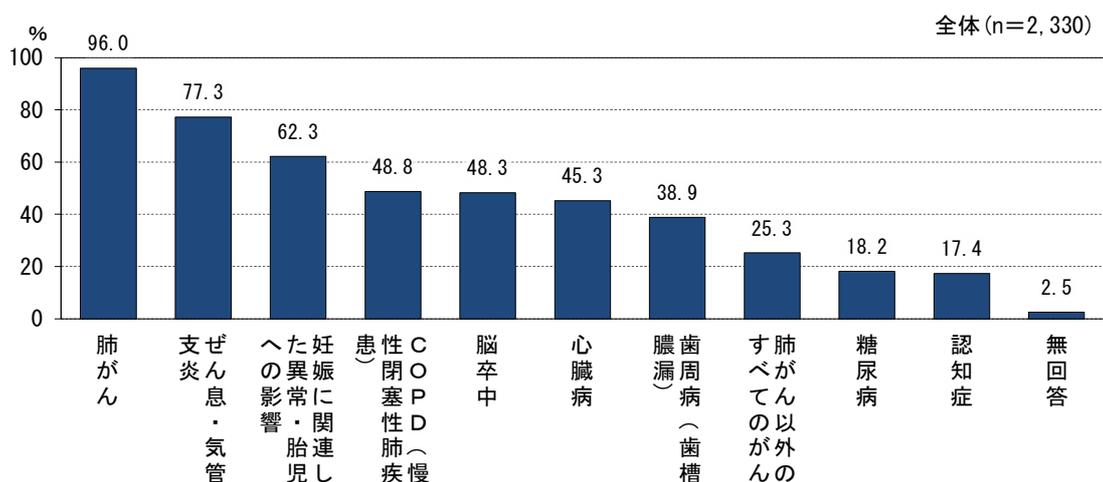
## ②認知している喫煙が原因となる可能性のある疾患

◆喫煙が原因となる可能性のある疾患をお選びください。(○はいくつでも)

【13～18歳問 30-1、19歳以上問 48-1】

喫煙が原因となる可能性のある疾患については、「肺がん」が 96.0%で最も高く、次いで「ぜん息・気管支炎」が 77.3%、「妊娠に関連した異常・胎児への影響」が 62.3%となっています。

13歳以上の認知している喫煙が原因となる可能性のある疾患



性別・年代別でみると、「肺がん」は全ての性・年代で 9 割を超えています。「妊娠に関連した異常・胎児への影響」は女性の方が男性よりも高く、特に 65 歳以上の男性は 3 割に満たない低い割合となっています。

13歳以上の認知している喫煙が原因となる可能性のある疾患 (性別・年代別)

		単位: %											
		サンプル数	肺がん	ぜん息・気管支炎	妊娠に関連した異常・胎児への影響	性閉塞性肺病 (COPD)	脳卒中	心臓病	歯周病 (歯漏)	すべがてんの以外の	糖尿病	認知症	無回答
全体		2,330	96.0	77.3	62.3	48.8	48.3	45.3	38.9	25.3	18.2	17.4	2.5
性別・年代別	男性計	916	95.9	74.8	44.3	41.8	50.1	46.6	35.0	26.2	15.9	13.8	2.5
	13～18歳	149	94.6	69.8	61.1	42.3	38.3	41.6	41.6	26.8	12.8	14.8	5.4
	19～29歳	92	95.7	80.4	59.8	54.3	48.9	40.2	43.5	29.3	13.0	18.5	3.3
	30～39歳	110	97.3	70.9	48.2	46.4	56.4	36.4	36.4	30.0	10.0	10.9	1.8
	40～49歳	91	90.1	76.9	48.4	47.3	56.0	46.2	39.6	28.6	20.9	17.6	5.5
	50～64歳	203	96.1	70.4	44.8	40.9	58.6	51.2	37.4	29.6	19.7	12.3	2.0
	65～74歳	180	97.8	78.3	28.3	36.1	47.2	53.3	26.1	21.7	16.7	12.2	-
	75歳以上	91	97.8	82.4	23.1	30.8	44.0	50.5	22.0	16.5	16.5	13.2	1.1
	女性計	1,400	96.1	78.8	74.0	53.4	47.1	44.1	41.3	24.7	19.5	19.6	2.5
	13～18歳	143	95.1	73.4	74.1	50.3	42.7	34.3	42.0	31.5	16.8	16.1	4.2
19～29歳	171	93.6	76.6	80.7	53.8	48.0	46.2	64.9	31.6	28.1	25.1	5.8	
30～39歳	196	91.8	76.0	79.1	57.7	56.1	43.9	49.0	30.1	17.9	25.0	5.1	
40～49歳	178	97.2	78.1	78.1	53.9	54.5	43.8	45.5	25.8	18.5	24.7	2.2	
50～64歳	334	97.0	79.6	78.1	59.9	52.1	50.3	40.7	26.3	24.3	26.0	1.5	
65～74歳	238	98.3	83.6	66.8	50.0	36.1	38.2	26.1	14.3	13.4	8.0	-	
75歳以上	140	98.6	81.4	55.7	40.0	35.0	47.9	22.9	14.3	14.3	7.1	-	

## (7)受動喫煙の機会

### ①受動喫煙の有無

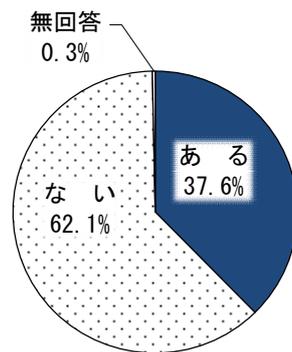
◆日常生活の中で、受動喫煙を受ける機会がありますか。(○は1つ)

【13～18 歳問 31、19 歳以上問 49】

#### ●13～18 歳

13～18 歳のうち、37.6%が受動喫煙を受ける機会があります。

13～18 歳の受動喫煙の有無

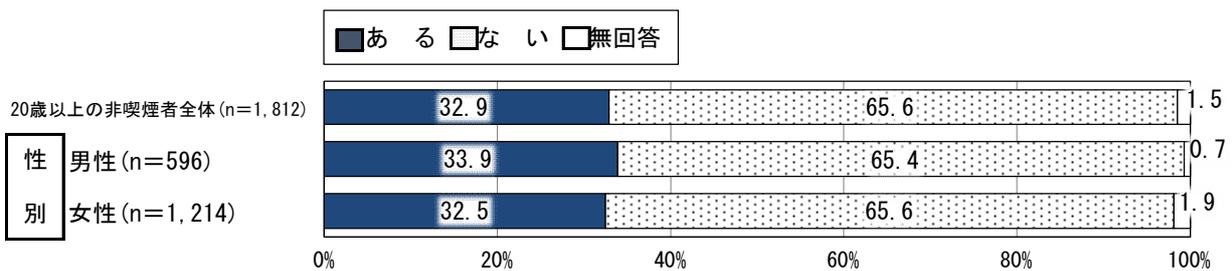


全体 (n=319)

#### ●19 歳以上

20 歳以上の非喫煙者については、男性 33.9%、女性 32.5%が受動喫煙を受ける機会があります。

20 歳以上の非喫煙者の受動喫煙の有無 (性別)



## ②受動喫煙を受ける機会

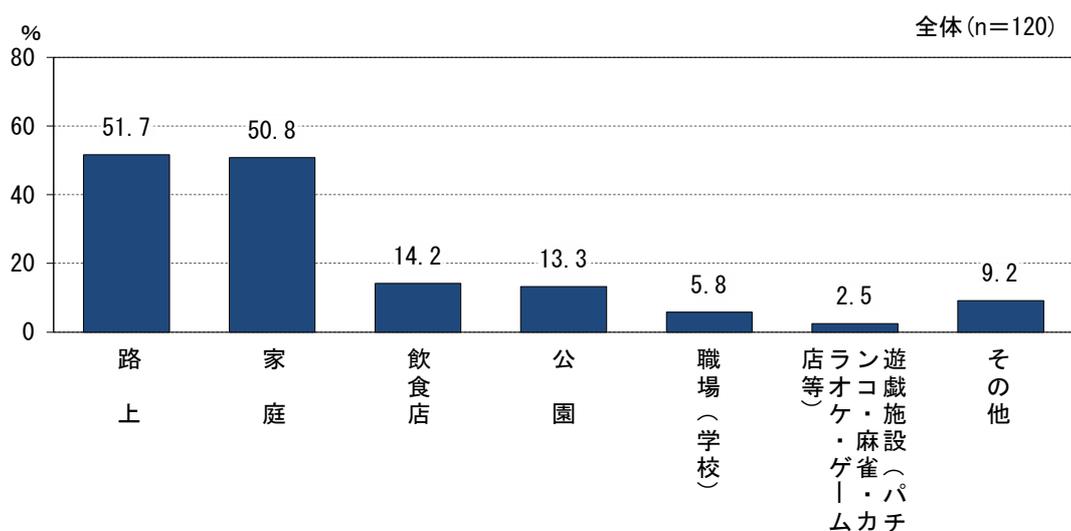
◆どの場面や場所で、受動喫煙を受ける機会がありますか。(○はいくつでも)

【13～18歳 31-1、19歳以上 49-1】

### ●13～18歳

13～18歳のうち、日常生活で受動喫煙の機会が多いのは、「路上」が51.7%で最も高く、次いで「家庭」が50.8%、「飲食店」が14.2%となっています。特に「路上」と「家庭」は5割を超えています。

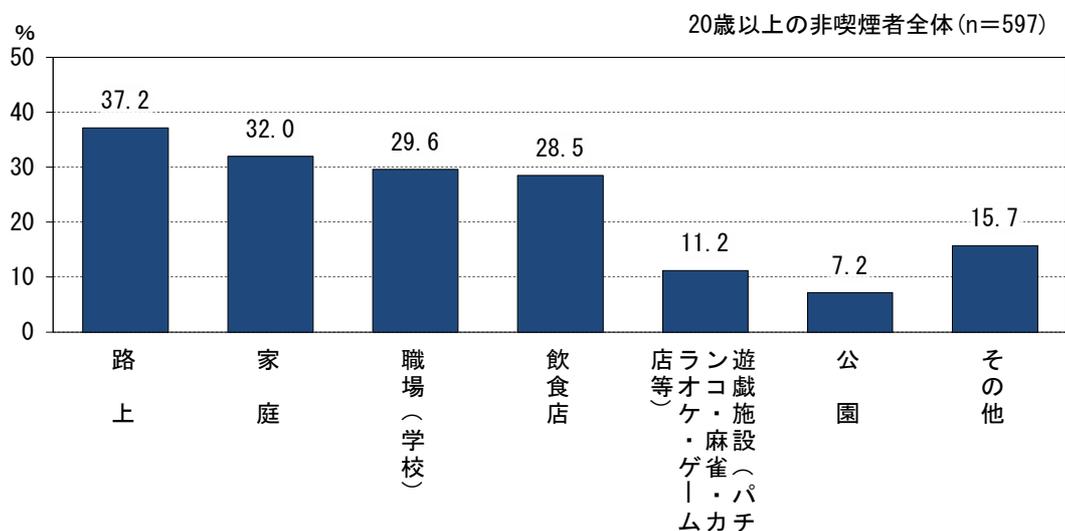
13～18歳の受動喫煙を受ける機会



### ●19歳以上

20歳以上の非喫煙者のうち、日常生活で受動喫煙の機会が多いのは、「路上」が37.2%で最も高く、次いで「家庭」が32.0%、「職場(学校)」が29.6%となっています。

20歳以上の非喫煙者が受動喫煙を受ける機会



性別で見ると、男性は「職場」が 49.5%で最も高く、女性は「家庭」が 42.8%で最も高くなっています。

### 20歳以上の非喫煙者が受動喫煙を受ける機会（性別）

単位：%

	サンプル数	路上	家庭	職場（学校）	飲食店	ケコ遊 ゲ・麻施 ー雀設 ム店・カ 等ラチ オン	公園	その他
20歳以上の非喫煙者全体	597	37.2	32.0	29.6	28.5	11.2	7.2	15.7
性別 男性	202	31.2	10.9	49.5	30.2	14.4	7.4	17.8
性別 女性	395	40.3	42.8	19.5	27.6	9.6	7.1	14.7

経年比較すると、平成23年度から令和4年度の11年間、平成28年度から令和4年度の6年間で、「家庭」や「飲食店」、「職場(学校)」すべてで、有意\*に減少しています。

特に飲食店は健康増進法の改正もあり、大きく低下しています。

### 20歳以上の受動喫煙を受ける機会を有する者の割合（経年比較）

